

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年2月15日

商工中金

山口銀行と共同で、ローカル5G工場としてスマートファクトリーを実現する株式会社ひびき精機様に対し総額7億5,000万円のシンジケートローンを組成

商工中金は、シンジケートローンなどの取組みを通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献しています。

商工中金（下関支店）は、株式会社ひびき精機様（本社：山口県下関市、代表者：松山 英治様）に対し、総額7億5,000万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金と山口銀行がアレンジャーを務め、西京銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

同社は、インコネル等の難加工素材でもミクロン単位で切削・平面加工ができる高精度の切削加工業者です。半導体製造装置や航空エンジン部品など、厳しいレベルの品質要求にも短納期で対応可能な高い技術力を有し、2013年には国際規格 JISQ9100（航空宇宙）を取得しています。また、昨年7月には、NTT 西日本と連携し、中国地区初の「ローカル5G」のモデル工場を稼働させるなど、IoTの活用にも積極的に取り組んでいます。

今回、同社は、本シンジケートローンで調達した資金により、営業キャッシュフローと財務キャッシュフローのミスマッチを解消するとともに、需要が増加する半導体向けや新事業開拓に活用します。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた事業性評価を実施。事業の繁閑差が大きい半導体業界特有の課題への対応や、同社が推進するスマートファクトリー（無人化）に熟練工員の技術等が加わることで製品の更なる高付加価値化が実現可能と考え、メインバンクの山口銀行や新たに招聘した西京銀行と同社の現状を共有、必要な資金枠を設定しました。今後は定期的なモニタリングスキームを通じ、同社と取引金融機関とのリレーションを図っていきます。

商工中金は、地域金融機関と連携してお取引先の課題解決に繋がる財務構造改革のサポートと本業支援を行うことで、中小企業の価値向上を図り、地域経済の発展に貢献していきます。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	7億5,000万円 (コミットメントライン)
共同アレンジャー	山口銀行 3億円
共同アレンジャー兼エージェント	商工中金 4億円
参加金融機関	西京銀行 5,000万円
契約締結日	2021年2月15日



【株式会社ひびき精機様の概要】

所在地	山口県下関市菊川町田部 186-2	資本金	7,500万円
代表者	松山 英治様	従業員数	98名 (2021年1月現在)
業種	精密機械加工業	設立	1972年7月

【昨年完成したローカル5Gモデル工場】